

杵築市観光戦略 2027-2029（案） 概要版

戦略の概要

【目的】
・多様化する旅行ニーズや環境の変化に柔軟に対応すべく、本市の特性を活かした持続可能な観光地域づくりを目指す。
・行政や観光協会、観光関連事業者、観光関連団体のみならず、市民や各種団体、事業者などが一体となって観光振興を図るための指針とする。

【戦略期間】
令和9（2027）年度から令和11（2029）年度の3年間

【戦略の位置づけ】
本市の最上位計画となる「第3次杵築市総合計画」（2025→2034）に基づく、観光分野の個別計画として位置づける。

杵築市が目指す観光ビジョン

「食・触・泊～通過から滞在へ、訪れたい・住みたい杵築へ～」

現状の「通過型」から歴史・文化や食、農業などの体験を目的とした「立寄型」、そして「滞在型」への転換を図り、何度も訪れたい、住みたい杵築市を目指す。

【めざすべき姿】

・杵築市の歴史・文化・自然等に加え、人々の営み、産業も含めた地域資源を活かした杵築市ならではの観光コンテンツがあり、観光地として賑わっている。
・観光地経営の視点に立って観光地域づくりが盛んにおこなわれており、観光消費が拡大し、地域経済が活性化している。

数値目標とK P I

	現状値 （R7）	目標値 （R11）
観光客数（人）	838,101	1,000,000
観光消費額（千円）	1,345,794	2,000,000
1人あたりの消費額 （円）	1,606	2,000

戦略1：稼げる観光

【基本的な考え方】
歴史・文化や食、農業などの体験を目的とした立寄型観光への転換を柱に近隣の宿泊施設・観光施設・市町村等と連携した取り組みを展開していく。また、観光マーケティングによる商品開発や戦略P R等を通じ、観光地としてのブランド化を図り、観光を地域経済活性化に繋げていく。

戦略2：観光まちづくり

【基本的な考え方】
観光まちづくりを目的に、市民・事業者・行政等が一体となって、地域資源を活かした魅力あるまちづくりを進め、情報発信を行うことで、市内外の杵築ファン（関係人口）を増やし、持続可能な地域づくりを進めていく。

戦略推進体制の構築

観光戦略を実効性あるものとするため、市・観光協会・事業者・地域住民・関係団体が連携した推進体制を構築する。
・観光関連団体連携体制の強化
・観光人材育成（研修）
・観光動態統計等の分析・活用

杵築市観光戦略 2027-2029（案） 概要版

戦略 1：稼げる観光

戦術 1：近隣宿泊施設等との送客連携

施策1-1：近隣宿泊施設への情報提供・マップ配布
施策1-2：近隣宿泊施設との共同プロモーション・情報発信の強化
施策1-3：広域周遊観光推進のためのプラン造成
施策1-4：JR駅を活用した市内観光周遊ルートの構築

戦術 2：高付加価値旅行商品等の開発・磨き上げ

施策1-5：高付加価値体験プログラムの開発
施策1-6：城下町や地域文化の体験プログラムの磨き上げ
施策1-7：農林・漁業の体験プログラムの開発・磨き上げ
施策1-8：古民家・民宿等宿泊体験の推進
施策1-9：自然・アウトドア体験プログラムの開発・磨き上げ
施策1-10：ウェルネス体験プログラムの開発

戦術 3：食及び土産品の開発

施策1-11：地域の食資源を活かした地域グルメの磨き上げ
施策1-12：新たな土産品開発と杵築ブランド認定品の魅力発信

戦術 4：観光マーケティングの進化

施策1-13：杵築市の観光ブランドイメージの構築
施策1-14：生成AI検索を意識したSNS等による情報発信の強化

戦略 2：観光まちづくり

戦術 1：地域資源の磨き上げと発信

施策2-1：地域資源の発掘

戦術 2：城下町エリアの魅力向上

施策2-2：歴史的な景観を活かしたイベントの開催
施策2-3：周遊観光を目的とした案内機能の整備・強化

戦術 3：市民参加型観光の推進

施策2-4：観光ホスピタリティ人材の育成
施策2-5：観光産業と教育機関との連携強化

戦術 4：関係人口・ファンづくり

施策2-6：ふるさと納税を活用した関係人口・ファンづくり
施策2-7：観光素材を活用した移住・定住の促進プログラムの開発